



# SGH News Letter No.9

平成 30 年 4 月 9 日 発行 愛媛県立松山東高等学校



## 目次

- ◆松山東 Global Works
- ◆『グローバル化が進む世界の中であって…』
- ◆2017年度報告
- ◆成果発表会報告
- ◆2018年度予定
- ◆2年生課題研究
- ◆おわりに

## ● SGH 事業における本校生徒の Global Works

本年度で SGH 事業はいよいよ最終の5年目を迎えます。これまでに本校生徒が関係した海外訪問先を世界地図に表すと、下図のようになりました。これを見ると、南極以外の5大陸すべてに足跡を残しており、世界中と関わってきたことがよくわかります。本年度も、新たな一歩を多くの生徒たちに踏み出してもらいたいと思います。

(※図のうち、青字は受け入れ留学生)



## ● グローバル化が進む世界の中であって、今すべきことは？

「グローバル化」という言葉を聞かない日がないほど、現代はグローバル化が進んでいます。日本を訪れる外国人の数は上昇を続け、今では全国各地で外国人を見かけるようになりました。また、日本国内の人口減少・市場縮小を受け、国内の多くの企業が海外進出を果たしています。このような傾向は今後しばらくは続きそうです。そのような情勢の中、これからの社会を背負って立つ皆さんに必要なのは、自国に対する正しい認識とグローバル・マインドを持ち合わせて行動する、ということです。そのためにも、本校SGH事業を通してこれからの時代にふさわしい人間に育ててほしいと思います。

本校SGH事業には様々なプログラムがあります。中でも、上記世界地図にも示されているように、実際に海外に足を運ぶことができるプログラムがいくつか用意されています。学校主催のものとしては、1年生では台湾、2年生ではフィリピン・ウガンダを訪れる海外FW、2年生でのロサンゼルス修学旅行、1～3年生すべての生徒が対象のオーストラリア語学研修があります。また、公募型のトピタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラムや日本の次世代リーダー養成塾、1・2年生対象のえひめ高校生ハワイ派遣事業、それに個人申込の海外への長・短期留学まで含めるといくつあるのか数えきれません。外へ出るのが難しいという人は、生徒全員に声をかける愛媛県高校生国際交流促進事業や愛媛大学で開催する Study Abroad Fair 参加、SGH 部が中心になって参加している JICA 高校生国際協力実体験プログラム、玉川模擬国連、アジア・キッズ・ケア。さらに、日経 STOCK リーグ、SGH 甲子園、英語ディベートコンテスト、英語スピーチコンテスト等、各種大会への挑戦ができます。

高校生のうちに多くの経験をしましょう。未来の自分に何が役に立つのか、現在の自分にはわかりません。まず「やってみる」「行ってみる」ことに意味があるのです。勇気を持って1歩目を踏み出すことがこれからのグローバル社会を生きていくための大きな一歩となるはず。みなさんの勇気あるチャレンジをお待ちします。



愛媛県立  
松山東高等学校

東高 がんばっていきましょい  
-ALL愛媛で育てる世界に羽ばたく人材-



目標  
人材像

輝かしい伝統を受け継ぎ、新たな創造を切り拓く、

人間的魅力のあるグローバル・リーダーの育成

- ・世界の持続可能な発展に貢献する意欲と深い教養を身に付けた人材
- ・「明教」186年の英知(問題解決力・コミュニケーション能力等の国際的素養)を持つ人材
- ・日本人のアイデンティティを持ち、愛媛や日本の魅力を世界に発信する人材

事業概要

3年生  
(81人)

【G明教Ⅲ】ローカルから  
グローバルへの発信

3年生は11のグループに分かれ研究テーマを設定、研究し、9月の文化祭までにこれまでの研究を論文にまとめ、発表。  
(テーマ例)  
・愛媛の企業がグローバル化を進めるための課題と研究  
・国際社会と多民族共生 持続可能な社会

【G明教Ⅱ】課題解決への取組

2年生  
(71人)

2年生は10グループに分かれ研究テーマを設定、研究。  
(以下がテーマ例)  
・国際社会と多民族共生  
・持続可能な社会  
・愛媛の企業がグローバル化を進めるための課題と研究

坊ちゃん  
タイム

<ねらい>  
・語学力向上  
・総合能力育成

①East CLIL  
(内容言語統合型学習)

課題研究

世界の持続可能な発展のために

1年生は21グループに分かれ研究テーマを設定、研究。(以下がテーマ例)  
・グローバルスタンダードな医学・医療と医学教育とは?  
・愛媛の国際化を考える  
・Global Communication Skill

海外  
FW②



②Discussion & Debate II

③課題研究と連携した指導

1年生  
(359人)

【G明教Ⅰ】  
グローバルとの出会い  
アジアと愛媛の企業

講演「グローバル企業を研究するために」  
企業訪問(井関農機・三浦工業・渦潮電機  
・住友金属鉱山・住友重機械・住友林業の  
6社を訪問)



アイデンティティとグローバル

講演「校歌指導」「CitizenshipとIdentity」  
「秋山兄弟が接した世界」



松山市内FW

「坂の上の雲ミュージアム・秋山兄弟生家訪問」

海外  
FW①

成果の普及

7月6日  
企業訪問報告会  
各企業班の代表  
による発表



8月31日  
海外FW報告会  
FWおよび留学生の  
報告



9月20日  
論文発表会  
論文展示及び代表  
者による研究発表



12月18日  
中間報告会  
2年生による1年生  
向け発表&ポスター  
セッション



3月5日  
成果発表会  
発表&ポスター  
セッション



海外  
FW

- ①台湾(8名)・フィリピン(8名)  
1年生を対象に、日本企業の現地法人や現地の高校・大学を訪問。現地の学校では同世代と英語で交流。
- ②ドイツ(7名)・ウガンダ(8名)  
2年生を対象に、課題研究の一環として、各FWでテーマを設けて、それに沿った訪問および交流を実施。現地の学校では同世代と英語で交流。各テーマ:ドイツ「環境都市政策の研究」、ウガンダ「JICAによる国際協力の現状」
- ③イギリス(4名)UCL主催のJYCプログラムに参加。期間中に開かれた夏目漱石生誕150周年シンポジウムでもゆかりの高校としてプレゼンを実施。

第2回中四国  
SGH高校生会議開催  
中四国8校  
総勢43名参加!  
1泊2日で交流

再びの快挙!  
日経STOCKリーグ  
最優秀賞受賞!  
参加した3チーム中、1チームが  
金融担当大臣賞を受賞、  
他2チームも入選!

平成29年度の成果

留学生数:5名 受入留学生:2名  
FW参加者:35名 修学旅行(米):120名  
その他海外研修:17名  
総勢:のべ179名

ALL 愛媛の力(愛媛大学・IRC・EPIC・MIC・松山市)

## ● 2017年度 SGH 事業研究成果発表会 の報告

日時：平成30年3月5日（月）13:40～16:30

会場：本校 体育館・アリーナ・第1教練2階

内容：13:40～13:50 開会行事（開幕演奏・教頭挨拶）

13:50～14:05 1年生代表生徒ポスター発表①

14:05～14:20 1年生代表生徒ポスター発表②

14:30～15:50 1年生ポスターセッション

2年生シンポジウム

16:00～16:20 ドイツFW 発表

16:20～16:30 閉会行事（指導講評・校長挨拶）



ご参加いただいた方より以下のようなご意見を賜りました。

プレゼンテーション、質疑応答のアティチュードや言葉の選び方など年々進歩し成熟していると感じます。このような機会のある東高生は幸せだと思います。

様々なテーマについて、各自大変分かり易くまとめられていた。発表の仕方もていねいでよく調べていると思いました。

（シンポジウムは）生徒任せの運営は冒険ではありますが、東高ならではの試みだと思います。シンポジウム体験を高校の授業で出来ることはとても価値あることだと思います。

生徒たちが生き生きと活動しており、充実していることが伝わってきました。英語を学ぶ、から英語で学ぶへ、東高生だからこそその取り組みがみられて有意義でした。生徒たちが主体的に取り組めるよう、学校を挙げてサポートされた成果だろうと想像されます。先生方もお疲れ様でした。

入り口で生徒さんが受付等の対応をしてくださったのは、気持ちがよかったです。また、司会も生徒さんが行うことで（よくあるのは放送部の生徒だが、どうもそうでなさそうなところに、親近感をもった）、生徒主体の発表会のスタンスを感じることができた。

## ● ベストポスター賞

成果発表会において、実施されたベストポスター賞（1年生のみ）の投票の結果は、以下の通りでした。

受賞したみなさん、おめでとうございます！

1位 「世界に支えられるふ☆じ☆も☆♡」

生徒氏名： 藤本雄大 渡邊翔 芝海周

2位 「浮かんで走る！！」

生徒氏名： 武田歩 小路島梨子 西岡幸太郎 松本幸樹 小畑良仁

3位 「今治パリエさんバイリンガル化プロジェクトチームイヨノスケ」

生徒氏名： 東山花鈴 森田麻希 山本結衣 富岡理桜子 真木彩穂

「Differences between English and Japanese in Harry Potter movies」

生徒氏名： 川田真弘 岡田浩輝 森優輔 永原恵人



## ● 2018年度予定

本年度は以下のようなスケジュールで、SGH 事業に取り組む予定です。

月	1年生(全生徒)	2年生(SGコース)	3年生(SGコース)
4	講演(校歌指導・秋山兄弟) 市内フィールドワーク	課題研究 開始 保健講座Ⅰ	課題研究 開始
5	講演(企業研究)	修学旅行(ロサンゼルス班)	
6	県内企業訪問		
7	企業訪問報告会 オーストラリア語学研修	保健講座Ⅱ オーストラリア語学研修	
8	海外FW(台湾) 海外FW報告会	海外FW(フィリピン)	
9	課題研究 開始		研究論文発表会
10		保健講座Ⅲ	
11			
12		中間発表会 海外FW(ウガンダ)	
3	研究成果発表会	研究成果発表会	

## ● 2年生 課題研究 担当講師および研究テーマ

4月から始まる2年生の課題研究は以下の講師・研究テーマで実施します。

No	氏名	所属	課題研究テーマ
1	橋本 建司	愛媛大学法文学部	人間の安全保障
2	岡本 威明	愛媛大学教育学部	食品の機能性と安全性および調理特性に関する研究
3	小林 直人	愛媛大学大学院医学系研究科	なぜ世界中で研究不正が起きているのか?
4	井門 俊	愛媛大学大学院理工学研究科	国内外における最先端のビジュアルコンピューティング技術とその応用
5	大上 博基	愛媛大学大学院農学研究科	グローバル時代における伝統的価値
6	中山 晃	愛媛大学教育・学生支援機構 英語教育センター	グローバル・コミュニケーションの心理学
7	小林 修	愛媛大学国際連携推進機構 アジア・アフリカ交流センター	アジア・アフリカ諸国のライフスタイルを探り、人類の未来可能性を考察する
8	長友 太郎	愛媛県立中央病院新生児内科	周産期医療を通して社会を見る
9	嶋村 美和	元京都大学東南アジア研究所研究員	多様性を考える
10	梶原 春菜	元京都大学法学研究科助教	国際政治について考える

## ● 新たなる一歩を!

平成26年度に第I期校として指定を受けた本校SGH事業も4年目を終え、残すところあと1年となりました。この4年の間、暗中模索の中で様々な活動にチャレンジし、主として愛媛大学の先生方に指導をいただき大学レベルの研究に取り組む課題研究、フィリピン・台湾をはじめとする海外フィールドワーク、専門教科の教員と英語教員・ALTがチームを組んで三位一体で取り組むEAST CLIL、SGH部が取り組む種々の国際交流など、多くの活動が軌道に乗り、生徒と教職員が一丸となって諸活動に取り組む中で大きな成果を上げることができました。また、その活動はたびたびマスコミ等で取り上げられ、その都度大きな反響を呼び、「松山東といえばSGH」とまで言われるほどその認知度は高まっています。できることなら、このままSGH事業が継続され、さらに多くの生徒さんがSGH事業の恩恵に授かることができればいいのですが・・・。

ないものねだりをしては仕方ありません。さあ、泣いても笑ってもあと1年。「終わりよければすべてよし」です。過去4年間で先輩たちが築き上げてきたSGH事業を最高の形で締めくくりましょう。たかが1年ですが、されど1年です。その気になれば多くのことにチャレンジできます。みなさんに必要なのは、ほんの少しの勇気です。勇気をもって、新たなる一歩を踏み出してください。新たな世界が見えるはず。みなさんの勇気ある挑戦を心から応援します。ともに頑張りましょう!!

### 【発行元】

愛媛県立松山東高等学校

〒790-8521

愛媛県松山市持田町2-2-12

学校HP

<http://matsuyamahigashi-h.esnet.ed.jp/cms/>